



## 「近江地域学会」の設立について

滋賀県立大学

## 設立趣意書

近江地域の市民、事業者、行政、研究者、教育者そして学生が近江地域の価値に磨きをかけ、よりよき未来の創造に寄与することを目標に、研究と交流の場として近江地域学会を設ける。

近江は琵琶湖を中心にそれを取り囲む多様な自然環境に恵まれた地域であり、古くから人々が定住し文化を育んできた。また、環境に対する人々の意識は高く、環境の世紀である21世紀には、風土に根差した文化、環境と共生するライフスタイルや産業技術の領域で世界に貢献できる力を備えている地域である。

近江の価値を高めることは、ひとり近江のためだけでなく、世界に貢献することに繋がる。この信念のもと、近江の自然、くらしと文化、知恵とワザに磨きをかけ、そこから近江の未来を創造し、21世紀の世界に貢献する価値を創造することを目指す。そのための熱意、知識と技術そして経験を共有する場、そのことを通じて人と地域が共に育つ場、すなわち「びわ湖ナレッジ・コモンズ」を拓く。近江の価値を創造的に展開させることが近江人の責務であることを自覚し、ここに近江地域学会の設立をもってそれを表明する。

平成26年2月22日

### 設立発起人

滋賀県立大学長	大田 啓一
彦根市長	大久保 貴
長浜市長	藤井 勇治
近江八幡市長	富士谷 英正
東近江市長	小椋 正清
米原市長	平尾 道雄
滋賀県知事	嘉田 由紀子